

令和元年度 森林環境譲与税の使途の公表

事業区分	事業名	事業総額（千円）		事業内容	実績	税導入の効果
		(A)+(B)	(A)うち令和元年度の森林環境譲与税（千円）			
② 意向調査	森林経営管理意向調査業務	17	17	一般民有林の人工林所有者に対して今後の活用などについて調査を実施。	対象者 172名 対象森林面積 A=298ha	<p>【ワンフレーズ】 税活用により、 ・298haの人工林所有者へ意向調査を行い、今後の森林経営の意向を把握することで、今後の森林整備が必要な箇所の把握につながった。</p> <p>・普及啓発では赤ちゃん用の木製椅子並びにフォトフレームを渡すことで、小さなうちから木の温もりを感じ取ってもらえた。また、その親への森林・林業への興味、理解が促進された。</p> <p>・町民植樹祭実施箇所、地域住民に対し当町における課題でもある「エゾシカの被害対策の必要性」などに積極的に働きかけ、防鹿柵を設置することにより、その目的、効果に対する理解が促進された。</p> <p>【詳細】 当町内には阿寒摩周国立公園があり、豊かな自然に恵まれているが、森林・林業関係では、エゾシカによる森林被害が深刻な状況であり、その対策を積極的に取り組んでいる。 令和元年度については、エゾシカ被害対策の有効な手法である「防鹿柵」474mの設置を行い、実際に地域住民、森林所有者に見てもらうことでその目的、効果、必要性についての理解を深めることができた。 地域の課題であるエゾシカ被害対策が森林所有者により適切に実施がされるよう今後も推進に努め、必要な支援を行っていく考え。</p> <p>意向調査を行った森林の今後の整備の推進に努め、来年度以降積極的に支援してくための財源として、基金に積み立てる。</p>
⑩ その他（木材・普及啓発関係）	森林・林業普及啓発	2,052	2,052	町民植樹祭を開催し植栽した箇所において、「保育」及び「エゾシカによる森林被害の対策」の必要性の理解を図ることを目的とした「下刈」の実施及び「防鹿柵」を設置。	下刈 A=0.86ha 防鹿柵 L=315.0m 防鹿柵その2 L=159.0m	
⑦ その他（森林整備）	普通旅費	86	86	造林事業の推進に係る技術を取得するための研修参加。		
⑩ その他（木材・普及啓発関係）	木育教室等の開催	102	102	町内の子どもたちに林業体験並びに木材を使った木工作などを経て木に触れてもらう体験教室を開催。	10月7日開催 参加者 23名	
⑩ その他（木材・普及啓発関係）	木材利用促進	322	322	子どもの生まれた家庭に対して道産材を使用したフォトフレームと木製の椅子を贈呈。	40セット	
⑦ その他（森林整備）	町有林管理	165	165	GISシステムの更新業務並びに北海道のクラウドシステムの使用料。		
⑩ 基金積立（森林整備等）	森林環境譲与税基金	4,465	4,465	公共事業で行えない造林施策を行うため基金を積立。		
合計		7,209	7,209	0		